

東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会（Ⅱ）（案）

〔趣 旨〕

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震及びその後の余震により、本県は、大きな被害をこうむりました。その震災から2年が経過しようとしており、復興に向け、着実に歩みを進めているところです。

昨年の3月には、本協議会は、日本建築学会東北支部と共催で、「東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会」を実施し、多くの建築技術者の方や一般の方が聴講に訪れました。その後、一年が経ち、新たな地震や津波被害等の研究成果が報告されていることから、次なる大地震への備えとするため、第2回目の東北地方太平洋沖地震による建築被害の報告会を開催するものです。

〔主催等〕

主 催：宮城県建築物等地震対策推進協議会 共 催：社団法人日本建築学会東北支部
後 援：国土交通省東北地方整備局（予定）

〔日 時〕 平成25年 3月15日（金）13：30～16：30

〔場 所〕 宮城県庁 2階「講堂」

〔 次 第 〕

- 1 開 会 （13:30）
- 2 挨拶 （13:30～13:35） 田中 礼治 （東北工業大学 名誉教授）
- 3 宮城県の復旧・復興状況について
（13:35～13:50） 渡邊 広範（宮城県建築物等地震対策推進協議会企画局）
- 4 建築被害調査報告（13:50～16:20）
 - (1) 地震動の分析と設計 源栄 正人（東北大学大学院災害制御研究センター教授）
 - (2) 建築物被害
 - 1 学校建築物等のRC造被害 前田 匡樹（東北大学大学院 教授）
 - 2 鉄骨置屋根構造物等の被害 船木 尚己（東北工業大学 准教授）
 - 3 非構造部材等の被害 赤井 仁志（株式会社ユアテック 技術開発センター）
 - (3) 津波と建物被害 田中 礼治（東北工業大学 名誉教授）
 - (4) 復旧・復興について 小野田 泰明（東北大学 教授）
- 5 質疑応答（16:20～16:30）
- 6 閉 会（16:30）